

県立中高一貫校からの  
志望校突破  
対談



進学 神戸大学  
農学部

東 凜花先輩

出身 向陽高校 環境科学科

クラブ バドミントン部 (副キャプテン)

進学 神戸市外国語大学  
外国語学部

北口 湖子先輩

出身 向陽高校 環境科学科

クラブ 陸上部 (キャプテン)

AC(渋谷): 合格おめでとうございます!

東・北口: ありがとうございます。

志望校を決めた時期と決め手を教えてください。

東: 高3の夏頃かな。他の大学もいろいろ見てたんですけど、夏休みにオープンキャンパスに行って、いいなあと思って決めました。学部は高1・高2の頃から迷っていました。薬学部も考えていたんですが、農学部だといろいろな研究とかできると思ったので。就職先も食品や化粧品関係など幅広いので、自分に合っているかなと考えました。

北口: 最終決定した時期ははっきり覚えてないですけど、候補にしたのは高2の夏か秋頃です。はじめは私立志望だったけど、国公立も迷いはじめて推薦の話を聞きに行ったりして。でも、滑り止めで私立の外国語大学受かった時に、やっぱり神戸市外大が一番いいかなって。決め手は、その土地や大学の雰囲気が好きだったことです。

高1・高2の勉強と部活の両立で工夫したことなどは?

東: 勉強の開始時間は決めてました。疲れていて眠くなることもあったんですけど、21時頃には絶対に机に向かって1時間半ぐらい。で、早めに寝て早く起きて朝も勉強してました。高1の時からずっと。志望校が決まるのが遅かったのも、もし、

推薦でお願いしたいって考えた時に出せるように内申はとっておいて、いろいろな選択肢を残しておきたいなと思っていたので。

北口: 私は本当に勉強してなかったです。「部活9:勉強1」ぐらい(笑)。でも部活のないテスト期間だけはめっちゃ真面目にやろうと思って、ちゃんとやりました。週例テスト(高校で行われる週1回のテスト)の勉強は、夜早く寝て、朝5時半とか6時とかに起きて焦りながらやりました。その時だけですけど。

高3になってから部活引退前までの受験勉強については?

東: うーん、その頃は部活の自主練も遅くまで残っていました。でもずっとやっていたのは、朝、通学する時の電車の30分間。それは絶対勉強しようって。単語帳見たりとかは続けていました。夜はあまり集中できてなかったと思います。その分、朝早く起きて勉強していました。

北口: 私は高3になる春休みにちょっと自習室来て。その他はもう部活に注ごうって。部活大好きだったので。勉強は一旦置いておいて(笑)。テスト期間だけちゃんとして。総体直前はほとんど勉強してなかったです。時間がある時は、ネクステ(英文法・語法問題『Next Stage』)をちょっと見たり、単語帳をちょっと見たり。英語は好きだったから、それだけは少しだけできていた感じです。

受験勉強全体を通して、しんどかったことなどは?どうやって乗り越えましたか。

東: 高3の年末に学校でも共通テストの予想問題をする時間が何回もあったんですが、その点数がちょっと…。過去最低点が続いて一番しんどかったです。けっこう泣きました。でも共通テスト直前で過去最高点が出て、それで持ち直して本番受けられました。

北口: 私も共テ直前のその時期が、めっちゃしんどかったです。ボーダーを1回も超えたことなかったんですよ。7割は絶対欲しかったのに、5割か6割ぐらいしか取れなくて。私も家で泣いて泣いて。お母さんに励ましてもらったり、友達と励ましあったりして。勉強するしかないから、勉強して。で、共通テストで過去最高点がとれました。



部活を最後までやりきってよかったと思うことはありますか。

**東：** バドミントンは大好きだけど、途中辞めたいと思ったことも何回かありました。でも、部活のメンバーとみんなでやりきったっていう過程、その事実は達成感がありました。やっぱりしんどいこととかもいろいろあったけど、やりきれるんだっていう自信にはなったと思います。

**北口：** 私は、受験の方が部活より体力的には絶対に楽でした。部活だったらあまりにしんどかったら息ができなくて倒れるんじゃないかと思うけど、受験勉強してて、倒れると感じることないから（笑）。部活に比べたら受験勉強のしんどさはましだったかな。受験よりもしんどいことが先にあったから、受験を乗り越えられたかなと思います。朝起きて、これから部活に行っにしんどくなるんだって思ったら、机に向かって勉強してる方が絶対に楽だからって思えました。

向陽高校環境科学科で6年間周りの友達もずっと一緒に、よかったことなどはありますか。

**東：** けっこうなんでも言える友達がたくさんいたのは大きかったです。点数や志望校とかも相談できるし。



**北口：** ずっとみんなで一緒に楽しく過ごしてきて、そのみんなが真剣に勉強してるから、一緒に頑張ろうって。頑張っているのを見たから、自分も頑張ることができました。

大学生活で楽しみにしていることはありますか。

**東：** 一人暮らしが楽しみです。

**北口：** 大学の広報に興味があります。オープンキャンパスを手伝ったり。運動部入るとしても、マネージャーとかかなとは思ってます。

**東：** 私は体を動かすようなサークルも考えようかと思っています。



アカデミーキャンパスで印象的だったことはありますか。

**東：** 国語があまり好きじゃなかったんですけど、高2の冬に長沼先生（ACクラスライブ授業・国語：長沼先生）の授業を受けて、学校で教わっていない解き方だったから、早く模試で試してみたい！って思いました。

**北口：** 二次の前日にヨッシー（ACクラスライブ授業・英語：吉田先生）が「今までよく頑張ってきたな」って30分くらい話をしてくれて励ましてくれたから、自信ができました。ヨッシーに添削をいっぱい出したら、赤ペンばかりで返ってきて、どんどん実力が下がってる気がしてしんどいこともあったんですが、二次の対策やってないのも怖いから出し続けて、で、前日に褒めてもらえたのがすごく嬉しかった。

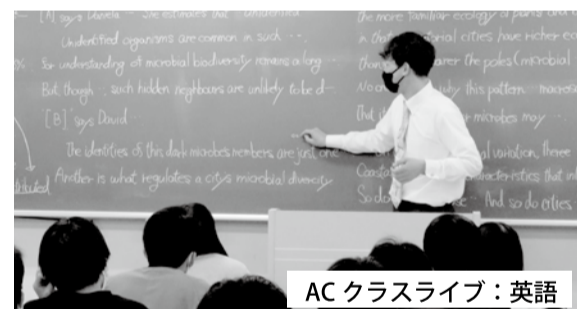
**東：** あ、あと、私が小学生の時に教えてもらったGES（小学生部・中学生部）の先生が、今でも私のことも気にかけてくれていて。今、中学生の妹がGESに通っているんですけど、妹を通じて「体調に気を付けて頑張れよ」とか伝えてくれたり。

**北口：** 私も。小学生の時のGESの先生が今も覚えてくれていて。アカデミーキャンパスでも会ったらいつも話しかけてくれました。

先輩にメッセージ

**東：** 私は、志望校を決めるのが遅かったのが心残りというか、もう少し早く決めていたらよかったなって思っています。コロナ禍でオープンキャンパスもなかなか行けなかったの。高3で行って、周りが高2の子たちばかりだったのは、ちょっと気まずかったです。現地に行った方が雰囲気とか環境とかが分かるので、高1のうちからいろいろな大学を実際に見てほしいなと思います。

**北口：** 私は一回もオープンキャンパスに行かなかった。予約が全く取れなかったの。高2の夏に大学を見には行ったけど、あの時期は建物の中にも入ることができなくて。いろいろ見られてたらよかったんですけど。あと、部活は今しかできないから、しっかりやってほしいなと思います。でも、勉強を全くしなかったら、受験生になった時に大変。勉強習慣がなかったら始めるのがすごくしんどいので、少しでもいいから勉強をするっていう習慣はつけておいた方が良くないかなと思います。



## インタビューを終えて

東さんは、高1の時から定期テストでトップクラスの成績を取り続けてくれていました。志望校はなかなか定まりませんでした。どこに決まってもいいように高いレベルの勉強を続け、模試でも毎回安定した点数でした。高3でいざ志望校が決まってからも、慌てることなく対策ができる状況でした。



## Academy Campus

北口さんは、EQ（AC: 英語基礎力トレーニング講座『English Quest』 - テストに合格するまで帰れないAC 伝統講座）をほぼ毎回1位で合格するなど、基礎を怠ることなく頑張ってくれました。二次試験直前期には、吉田先生の添削指導にも「昼に提出⇒夕方に返却⇒夜に再提出」と、ひたむきに取り組んでいました。

2人とも、環境科学科という中高一貫校の利点を活かして友人と切磋琢磨し、見事合格を勝ち取りました。練習がハードな部活にだったにもかかわらず、弱音を吐いたり愚痴をこぼすことは一度もありませんでした。持ち前の強さを活かし、大学生活も有意義なものになると信じています。

ACカウンセリングスタッフ 渋谷 勇太